



# 玉造温泉の桜存続プロジェクト

玉造温泉旅館協同組合

📍 人口 1,947人  
(松江市統計情報データベース2025年12月)

📍 J R 玉造温泉駅から車で5分  
(松江駅～玉造温泉 車で20分)

📍 旅館 16旅館  
約850部屋  
約3,500人収容可能／日

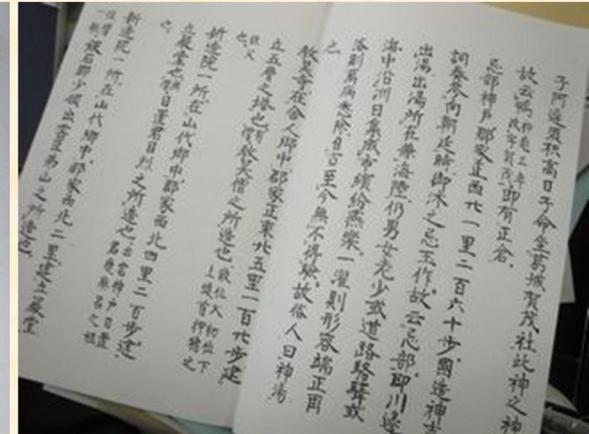
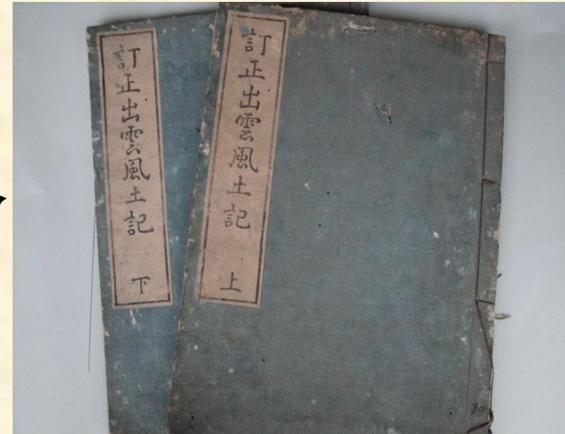
📍 にっぽんの温泉100選 第16位  
(観光経済新聞 令和7年12月15日)



🍀 日本最古の温泉地の一つ



🍀 奈良時代に作られた『出雲国風土記』  
(733年)には、玉造温泉について  
「一度入ると肌が美しくなり、再び入  
ると病気が治る」と記されており、  
古くから人々に親しまれた温泉



🍀 玉造という地名は、古代にこの地域で  
勾玉（まがたま）が作られていたこと  
に由来



## 温泉旅館



## まがたま



## 玉作湯神社



## 足湯



## お食事



## イベント



# 豊かな自然・歴史が溢れる玉造温泉

玉造温泉には桜（ソメイヨシノ）が400本以上もあり、春には満開の桜であざやかな彩りの街となる。

夜桜ライトアップも行い、観光客や地元の方を魅了している。最近では桜まつりも開催し、夜店・しまねの地酒まつりも実施。



夜店



夜桜ライトアップ

# 桜の老木化問題



## 老木化

樹木が高齢になり、幹が腐ったり、枝が枯れたりして、健康な成長が難しくなる。

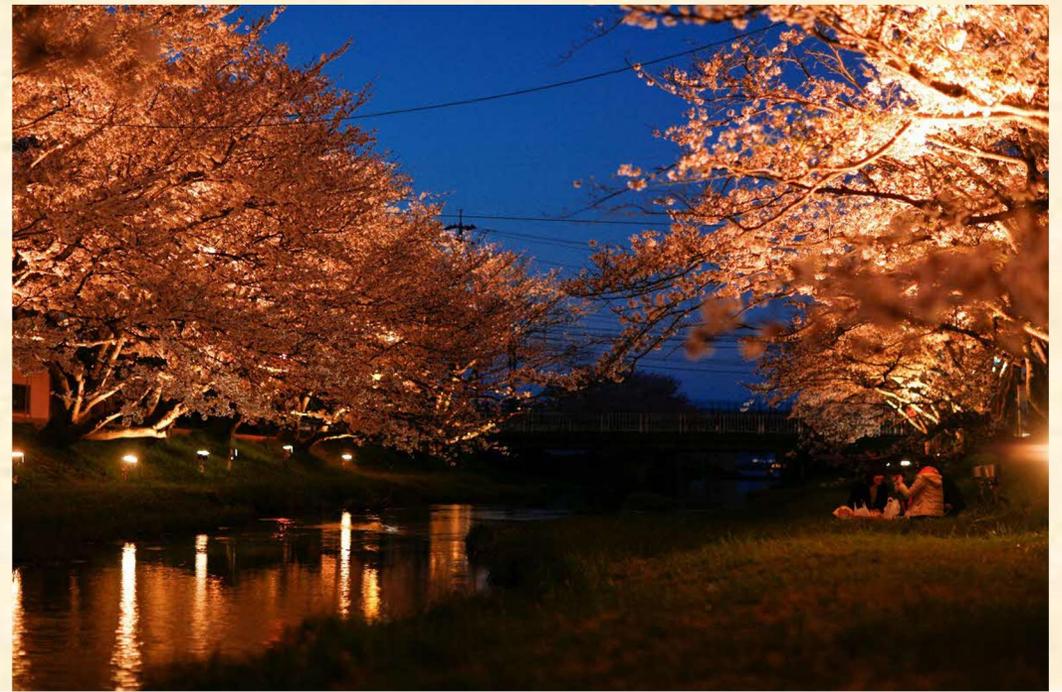
桜の多くは、昭和期に植えられたもの。桜の多くが樹齢数十年以上に達している。病気や害虫に弱くなり、倒木や枝折れの危険性が高まっている。

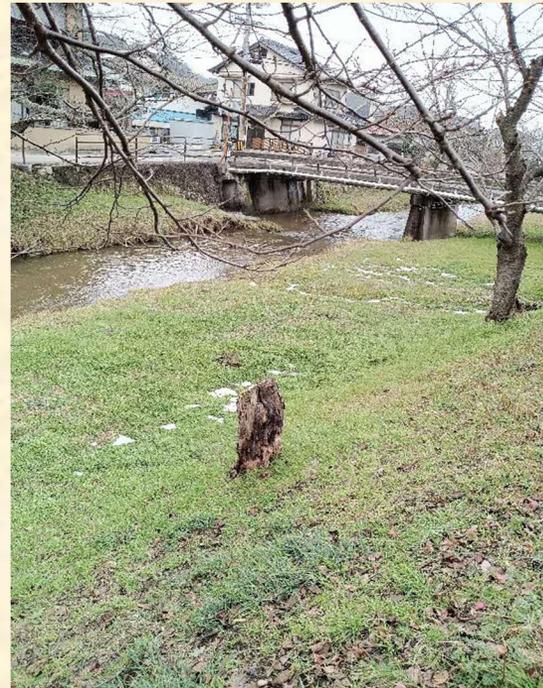
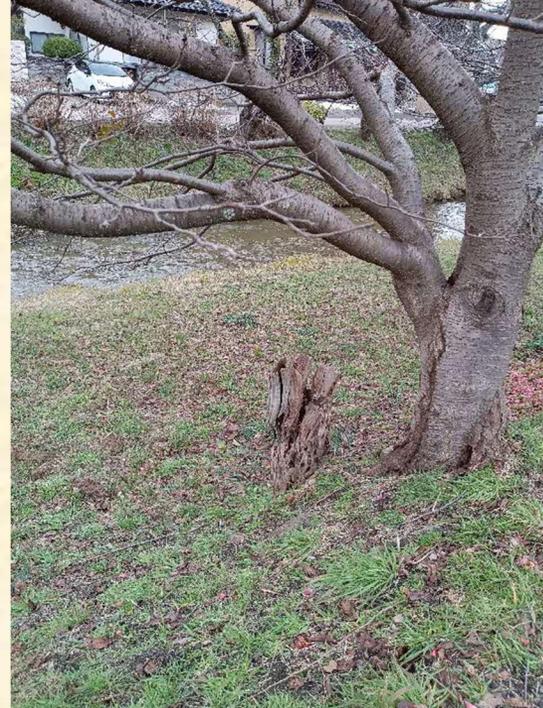
また、桜とは・・・

もともと寿命がそれほど長くない樹木。

人通りの多い場所や川沿いでは、土壌の踏み固めや水分条件の影響を受けやすい。

これらの要因が重なると、花の数が減少したり、十分に成長できない木が増える。





# これらの問題解決のために・・・

- 👂 将来にわたって、桜という資源を守ろうとする動き
- 👂 安全（倒木や枝折れ等を防ぐ）の重要性
- 👂 既存の桜に対する剪定や管理を行い、長く保存する取り組み

# 玉造温泉 玉湯川沿いで桜の植樹ができない理由とは？

(主な理由は、自然環境と安全管理の面)

## 📍 河川管理上の制限

洪水時の水の流れを妨げるおそれがある樹木の植樹は、原則として制限されている。特に桜は根が横に広がるため、護岸を傷める可能性がある。

## 📍 土壌条件の問題

玉湯川沿いは、護岸工事によって地面が固められている場所が多い。このような場所では、植樹しても成長不良や早期の枯死につながる。

## 📍 安全面への配慮

桜は成長すると大きな枝を広げる。老木化すると枝折れや倒木の危険が高まる。玉湯川沿いは 観光客や住民の通行が多いため、事故を防ぐ観点から新たな植樹が慎重に判断される。

## 抱える課題①

桜を未来永劫、残していくためには？

## 抱える課題②

桜を活かした、新しい温泉街振興策とは？

## 抱える課題③

地域の方の協力を得るための方法とは？

玉造温泉の桜を再生・存続させるために、玉湯川沿いに桜を植樹したいが、河川管理上の難しい問題があります。

現在、地域の方、島根大学、旅館組合、産学官の協力で抱えている課題を解決しようと動き出したところです。

そこでぜひ、皆様にも協力していただき、観光に来られた方や地元の方々にも楽しんでいただける玉造温泉街であり続ける方法を考えていきたいと思っています。

ぜひご協力をお願いします。

**ご清聴ありがとうございました。**